

(第2号様式)

向陽 第2372号
令和7年 3月24日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立向陽高等学校
校長 玉木 亨
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月25日	場所	向陽高校視聴覚教室	出席状況	4名出席 (富田杏理氏 報告)
第2回	日時	令和6年12月25日	場所	向陽高校視聴覚教室	出席状況	3名出席 (宮城克重氏・富田杏理氏 報告)
第3回	日時	令和7年3月21日	場所	向陽高校視聴覚教室	出席状況	3名出席 (豊里友則氏・富田杏理氏 報告)

2 学校評議員に求めた事項

【第1回】本校の学校概要(スクール・ミッション、教育目標・学校経営方針、育成評価記録書【校長】、1学期の主な行事、生徒の活躍、進路指導関係、生徒指導手順、保健室利用状況、R5学校評価、SSHの取組、各学年の取組等)を説明した後、質問や助言、意見等を聴取した。
【第2回】2学期の概況説明(2学期の主な行事、生徒の活躍、出席状況、進路指導関係、部活動・生徒指導関係、保健室利用状況、教育相談状況、SSHの取組、各学年の取組等)を説明した後、質問や助言、意見等を聴取した。
【第3回】3学期の概況説明(3学期の主な行事、生徒の活躍、出欠状況、進路指導関係、保健室利用状況、SSHの取組、各学年の取組等)、R6学校評価の結果を説明した後、質問や助言、意見等を聴取した。

3 学校評議員の意見

【第1回】スクール・ミッション、スクール・ポリシーについて、学校課題解決のための会議及び、生徒の「自走」を促す精神涵養のための対策会議開催について要望があった。地域のハリー参加について、地域の繋がりを持って、若いエネルギーを発散できたりできるので、よい取組であり、継続してほしいとの助言があった。
【第2回】さまざまな分野での生徒の活躍がめざましい。県高校総体では2年連続躍進賞の素晴らしい成果が出ている。短い練習時間で密度の濃い練習を積んでいるのではないか。スクール・ポリシー達成のため一致団結して取り組んでいるように感じる。送迎時の迂回路設定により、長毛地区の苦情が減少した。
【第3回】教職員が一致団結して教育目標に向かい取り組んでいるとの意見があった。

4 学校運営に反映した事項

・働き方改革を含めたよりよい学校づくりをめざすことを目的とした職員研修を8月に実施した。グループ形式で意見を出し合い、悩みの共有やめざす生徒像育成に向け、共通認識を図ることができた。地域のハリー参加は生徒は郷土愛の醸成や自己有用感の高まりにつながっているため、次年度も参加したい。
・学校評議員会で評価された生徒の活躍や教育実践について、職員や生徒と共有し、目標に向かい、自信を持って教育活動を行うことができるようになった。保護者送迎時の迂回路利用については継続して協力を依頼している。

5 課題その他

・送迎時の迂回路については、継続して保護者へ協力を依頼する。港川地区より迂回路走行時の速度超過についての苦情があるため、地域の安全のために徐行して迂回路を通過するように保護者へ継続的に要請する。
・教育活動のさまざまな場面において協働による探究活動を実施しているが、中学校時代にコロナ禍で交流活動ができなかったため、協働学習が苦手な生徒も多数存在する。教育相談に係るソフト・ハード両面の充実が必要であり課題である。